

令和3年12月14日(火) 9:30~リリモテラス公益施設大廊下で、第3回長久手中央2号公園利用促進協議会開催しました。  
今回は委員の皆さんに本公園の利活用について議論していただきました。

## 今回の次第

### 1 報告

前回議事内容の確認、社会実験に関する報告、グレードアップ工事の進捗状況報告

### 2 議題

- ①新たな公園の管理・運営の仕組み ~公園備品とその運用について
- ②オープニング企画について



現場確認の様子



議論の様子

## <1 報告>

長久手中央2号公園再整備工事の進捗状況を委員の皆さんに報告するとともに、今回の議題である公園備品の管理・運営のイメージしやすいように、現場を案内しました。

この翌日よりパーゴラの設置工事が行われています。

## <2 議題>

右上にある公園備品の管理イメージ図を元に、委員のみなさんに議論していただきました。

関係者がイベントをやりながら考えていくといったチャレンジ溢れる意見が出る一方で、管理に対する不安といった現実的な意見が出るなど多様な意見をいただきました。

また、実証的な取組として、リニューアルオープン後のイベントを委員の皆さんへ案内しました。

## 公園備品の管理・運営イメージ図

新たな公園の管理・運営の仕組み ~公園備品とその運用

屋外空間の魅力を高め、人々が長い時間を滞在し、多様なアクティビティ(活動)が生まれるような「場」にするには？

資料2



## 【主な議論の内容】

- 関連するリリモテラス公益施設が無事にオープンしたが、なかなか使い切れていない印象がある。2号公園もともに自由度の高い仕組み作りをしていきたい。
- 管理面で多様な意見をすり合わせるの難しいが、市民から意見徴収してくるのは前向きな取組だと思われる。
- 市民への広い周知が必要。また、利用のしやすい使用許可などの仕組みが大切。
- リリモテラスエリア全体で実証実験を通じて、担い手の発掘や多様な主体との関係性の構築などを探求していくことが大事。
- 管理面での運用が難しい印象を受ける。
- 最初から決めすぎているとなかなかアップデートができないため、運用の中で決めていけることもある。
- 実証実験期間に一步先の未来をみんなで作り上げていくことが重要。
- 映画会などが立ち寄りやすいような仕掛けを通じて、利用しやすさをPRしていくことが大事。
- お互いが許容できる範囲でやりながら決めていって、想像力を持って取り組んでいくことが重要。
- 人の集客に着目するのではなく、自分達の使いこなしを想像していくきっかけとしていくことが今後必要となる観点だと思う。
- ポテンシャルを秘めているエリアだと思うので、実証実験などをもっと積み重ねていっても良いのでは。

<問合せ先> 長久手市役所くらし文化部たつせがある課

電話 63-1111 内線 302,303 担当: 名久井、春原

長久手中央2号公園に関して、詳しいことは長久手市のWebサイトをご覧ください。